No. 131

構文・英文和訳 ULTIMATE CHEAT SHEET

挿入・同格・省略を見抜くチートシート

挿入は「足した」もの、省略は「削った」もの、同格は「言い換えた」もの。骨組みを先につかめば、長い文も崩れずに読める。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 カンマ・ダッシュで挟まれた所は外して S V を先に見る

2 名詞, 名詞／名詞＋that(完全文)は「＝」の同格

3 欠けている所は前と同じ語を補う(do・to・so も中身を戻す)

3つとも「骨組み」を見れば解ける

英文の骨組みは S＋V(＋O・C)。**挿入**はそこに付け足した説明なので( )に入れて外す。**同格**は直前の名詞の言い換えなので「＝」で結ぶ。**省略**はくり返しを嫌って削った所なので、前から同じ語を補う。**外す・結ぶ・補う**の3つの操作で、長い文はほぼ骨組みに戻せる。

◆ カンマを見たら役割を判定

カンマの形	役割	見分け方
S, ～, V	挿入	外しても文が成り立つ
名詞, 名詞,	同格	2つの名詞が同じもの(＝)
名詞, which [who] ～	非制限の関係詞	後ろが不完全な文
A, B(,) and C	並列	最後に and・or
-ing [p.p.] ～, S V	分詞構文	カンマの前に S がない

◆ ① 挿入:( )に入れて外す 6

☐ 1 カンマ・ダッシュで挟まれた語句

S と V の間に挟まれた語句は外して骨組みを確認。訳すときは文頭か文末に回すと自然。

> The plan, as far as I know, has not been approved yet.
> 私の知る限り、その計画はまだ承認されていない。

☐ 2 I think・I believe の挿入(コメント節)

文の途中・文末の I believe・it seems・they say は「～と思う」「～らしい」と文全体にかける。

> The real problem, I believe, lies in the system itself.
> 本当の問題は制度そのものにあると私は思う。

☐ 3 関係詞・疑問詞の後の S think

who (I think) is ～、What do you think he wants? の S think を外すと、関係詞・疑問詞の役割が見える。詳しくは「関係詞の長い構文を読み解くチートシート」。

> What do you think he wants for his birthday?
> 彼は誕生日に何を欲しがっていると思う？

× Do you think what he wants?(yes／no で答えない疑問は疑問詞が文頭)

☐ 4 however・therefore の挿入

文の途中の however・therefore・in fact・for example は、訳では文頭に出す。however は「しかし」。

> The results, however, were disappointing.
> しかし、結果は期待はずれだった。

☐ 5 ダッシュ(—)は補足・具体例

— ～ — で挟まれた部分は直前の語の具体化。「つまり」「たとえば」の気持ちで読み、外しても文は成り立つ。

> Three countries — France, Germany, and Italy — signed the agreement.
> 3か国、すなわちフランス、ドイツ、イタリアがその協定に署名した。

☐ 6 if any・if ever の挿入

few, if any, ～＝「あったとしてもごくわずか」、seldom, if ever, ～＝「たとえあってもめったに～ない」。

> There are few, if any, mistakes in her essay.
> 彼女の作文には、間違いはあったとしてもごくわずかだ。

◆ ② 同格:直前の名詞を言い換える 6

☐ 1 名詞, 名詞(同格のカンマ)

2つの名詞が同じ人・物を指す。「～である…」「…の～」と1つにまとめて訳す。並列(A, B, and C)と区別。

> Ms. Tanaka, our homeroom teacher, will retire next year.
> 担任の田中先生は来年退職される。

☐ 2 名詞＋that 節(同格の that)

fact・news・idea・belief・possibility＋that＋完全な文。「～という…」。後ろが不完全なら関係代名詞。※the day that ～ は完全でも関係副詞。詳しくは「that の識別チートシート」。

> The news that the bridge had collapsed shocked the town.
> 橋が崩落したという知らせに、町中が衝撃を受けた。

☐ 3 同格の that が名詞から離れる

主語が長くなるのを避けて、that 節を文末に回すことがある。文末の that 節が前のどの名詞の中身かを探す。

> A rumor spread that the singer would retire.
> その歌手が引退するというううわさが広まった。

× that を関係代名詞と読み「広まった歌手」とつなげる

☐ 4 同格の of

the city of Kyoto(京都という都市)、the idea of studying abroad(留学するという考え)。of の前後が「＝」。

> She gave up the idea of becoming a pilot.
> 彼女はパイロットになるという考えを捨てた。

☐ 5 名詞＋(of) whether／wh-節

the question (of) whether ～＝「～かどうかという問題」。wh-節も同格になる(the question of who should pay)。

> The question of who should pay was never settled.
> 誰が払うべきかという問題は、結局決着しなかった。

☐ 6 コロン(:)は「すなわち」

コロンの後は前の内容の具体化・理由・リスト。「つまり～」「次の通り」で前とつなぐ。

> She had one goal: to win the gold medal.
> 彼女の目標はただ1つ、金メダルを取ることだった。

◆ ③ 省略:前と同じ語を補う 8

☐ 1 接続詞＋(S＋be)

when・while・though・if・once の後で、主節と同じ S＋be が省かれる。後ろが -ing・p.p.・形容詞・前置詞句なら補う。

> While (I was) in London, I visited the British Museum.
> ロンドンにいる間に、大英博物館を訪れた。

☐ 2 if possible・if necessary

if (it is) possible(できれば)、if necessary(必要なら)。主語は it や前の内容。

> Please reply by Friday, if possible.
> できれば金曜までに返信してほしい。

☐ 3 名詞＋S＋V は関係詞の省略

名詞の直後に S＋V が来て、後ろで目的語が欠けていれば目的格の関係代名詞の省略。区切りを入れる。※欠けがなければ同格(the fact he left)や関係副詞(the day he left)。

> The book I borrowed from the library was very interesting.
> 図書館で借りた本はとてもおもしろかった。

✕ I を文の主語、borrowed を述語と読んで was で迷子になる

☐ 4 代不定詞 to

to の後ろの動詞句が前と同じなら to だけ残す。want to・have to・would like to・be going to で多い。

> I wanted to go to the concert, but I couldn't afford to (go to the concert).
> コンサートに行きたかったが、行く余裕がなかった。

☐ 5 代動詞 do・助動詞で受ける

前の動詞句のくり返しを do・does・did や助動詞で受ける。do の中身を前から戻して訳す。

> She speaks French better than I do.
> 彼女は私よりフランス語を上手に話す。
>
> A: Can you swim? / B: Yes, I can.
> A:泳げる？ B:うん、泳げるよ。

☐ 6 so・not で that 節を受ける

I think so.(そう思う)、I'm afraid not.(残念ながら違う[ダメだ])、I hope not.(そうでないといい)。

> A: Will it rain tomorrow? / B: I hope not.
> A:明日は雨かな？ B:降らないといいね。

☐ 7 Some ～, others …(動詞の省略)

後半で前と同じ動詞が省かれる。カンマが省略の目印。

> Some students went home; others, to the library.
> 家に帰った生徒もいれば、図書館に行った生徒もいた。

☐ 8 所有格の後の名詞の省略

at my aunt's(おばの家で)、the dentist's(歯医者)のように、house・shop などが省かれる。

> I stayed at my grandmother's during the summer.
> 夏の間、祖母の家に泊まった。

◆ 読み違えポイント 5

☐ ✕ ~~The man, I think, is honest.＝私が思う男は正直だ~~
○ その男は正直だと思う
I think は挿入。外すと The man is honest

☐ ✕ ~~What do you think he said?＝彼が何と言ったか、あなたは思うか~~
○ 彼は何と言ったと思う？
do you think は挿入。What は said の目的語

☐ ✕ ~~If necessary, call me.＝必要なものに電話して~~
○ 必要なら電話して
if (it is) necessary の省略

☐ ✕ ~~I'd love to.＝私は愛したい~~
○ ぜひそうしたい
to の後ろの動詞句が省略(代不定詞)

☐ ✕ ~~While stay in Kyoto, ～~~
○ While staying in Kyoto, ～
S＋be の省略なら -ing。動詞の原形は置けない

長い文の読み方

①カンマ・ダッシュで挟まれた所を( )に入れる ②名詞＋S＋V の切れ目に／を入れる ③do・so・to の中身を書き足す。この3つの書き込みを下線部和訳でやると、**構文を取れていることがそのまま答案に出る**。挿入句は訳さなくてよいのではなく、文頭・文末に回すなどして原則として訳に入れる。

◆ 確認テスト

1 The man who ＿＿ was honest turned out to be a liar.
a I thought　b I thought that he　c thought I　d I thought him

2 There is little, ＿＿ any, hope of finding them.
a but　b if　c as　d or

3 ＿＿ in Paris, I visited the Louvre.
a During　b For　c Since　d While

4 A: Is he coming? / B: I'm afraid ＿＿.
a not　b so not　c don't　d no

5 He runs faster than his brother ＿＿.
a is　b do　c has　d does

6 The idea ＿＿ humans will live on Mars is no longer science fiction.
a that　b which　c what　d of

◆ 解答

1 I thought who (I thought) was honest
2 if little, if any＝あったとしてもごくわずか
3 While While (I was) in Paris。during は後ろに名詞だけ
4 not I'm afraid not＝残念ながら来ない
5 does runs を代動詞 does で受ける
6 that idea＋完全な文→同格の that

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート(全439本・無料)